

ルカ22:39

ルカ22:39「それからイエスは出て行き、いつものようにオリーブ山に行かれた。弟子たちもイエスに従った。」

マルコ1:35

「さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

マタイ26:39

マタイ26:39「わが父よ、できることなら、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。しかし、わたしが望むようにではなく、あなたが望まれるままに、なさってください。」

マルコ14:36

マルコ14:36「アバ、父よ、あなたは何でもおできになります。どうか、この杯をわたしから取り去ってください。しかし、わたしの望むことではなく、あなたがお望みになることが行われますように。」

「杯」

手に取ったら絶対飲み干さなければならない、絶対に避けることができない、という意味として用いられる言葉。

神のさばき、怒り、災い、悲しみ、苦しみ。という意味も持っている。

ルカ22:44

イエスは苦しみもだえて、いよいよ切に祈られた。汗が血のしずくのように地に落ちた。

マタイ26:53

「それとも、わたしが父にお願いして、十二軍団よりも多くの御使いを、今すぐわたしの配下に置いていただくことが、できないと思うのですか。」

マタイ26:54

それでは、こうならなければならないと書いてある聖書が、どのようにして成就するのでしょうか。」

マタイ26:56

しかし、このすべてのことが起こったのは、預言者たちの書が成就するためです。」

三度の祈り①

マタイ26:39「わが父よ、できることなら、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。しかし、わたしが望むようにではなく、あなたが望まれるままに、なさってください。」

三度の祈り②

マタイ26:42 イエスは再び二度目に離れて行って、「わが父よ。わたしが飲まなければこの杯が過ぎ去らないのであれば、あなたのみこころがなりますように」と祈られた。

三度の祈り③

マタイ26:44 イエスは、彼らを残して再び離れて行き、もう一度同じことばで三度目の祈りをされた。

イエス様
＝神様の性質100%
＋
人間の性質100%

CLOSE TO YOU

～ニュースレター版～
2017年8月・9月号/No.18

主の御名を賛美します。今年も暑かった夏が終わり…気づけばすっかり秋の気候です。みなさんいかがお過ごしですか？

私はというと先月26歳の誕生日を迎え、ユースのみんなに盛大に祝ってもらいました…。(笑)



◀みんなが手にしているのは私の顔のお面…。(笑) 私の写真を必死に探し、一生命作ったそうです、…、なんて無駄な時間と労力の使い方!!!でも嬉しかったです。ありがとう♪

誕生日を覚えて祝ってもらうのは、何歳になっても嬉しいものですね。

それから、ニュースレターNo.15でも紹介した我が家の愛犬ふえありいが、9月26日に息を引き取りました。余命宣告をされた3月の時点では「あと2ヶ月もつか」と言われていましたが、多くの人の祈りに支えられて病院の先生も驚くほどの奇跡的回復を遂げ、またその残された時間の中で、看取る私たちも今まで以上の愛情を注いで接することができ、心の準備ができた状態でお別れすることができました。



聖書には、病死したラザロという青年が、イエス様の奇跡によって蘇る記事が存在します。この奇跡を目にした当時の人々は、どれほど大きな励ましと感動を受け、自らの証しになったことでしょう。

しかし一度は復活を遂げたラザロも、来るべき時に死んでいきました。「では、何のための奇跡だったのか？」ということ、この箇所を読む度いつも問われます。

私は今回の件を通して、神様は祈りに応えてくださる方であること、すべての主権は神様にある…ということを改めて教えられました。実家に帰ってもふえありいに会えないのは本当に寂しいですが、ふえありいを通して神様が教えてくれたことに感謝しつつ…。

-8月の主なはたらき-

8/6 ユース礼拝メッセージ、洗礼式(写真撮影)
8/14-8/17 フロンティア2017(キャンパーとして参加)☆
8/27 8月合同礼拝(夏の証し会)☆
※☆印のみ、報告します。

8月14日から17日までは、フロンティア2017という青年キャンプに参加してきました。

実は、私はこのキャンプに高校3年生の時に参加しており…そのキャンプがきっかけでTCUに進む道が開かれ、今の私にも繋がっています。

今回のキャンプのテーマは「WAKATTA!」というもので、自分と神様との関係やこれからの自分の方向性について「ほんとのところ、どうなんだろう?」ということ深く考える3泊4日を過ごしました。

また、このキャンプは私が中学生の時からお世話になっている日本同盟基督教団主催のキャンプで、懐かしい教職(牧師・伝道師)の先生や数年来会っていなかった友人たちにも再会することができ、良い交わりのときにもなりました。

今回のキャンプで私が「WAKATTA!」ことは、これからも名古屋福音教会で与えられている働きを捧げ続けていく…その確信が与えられたことでした。

キャンプ中、全部で5回のメッセージを聞きましたが、その中でも私が一番心に残ったのは最終日の朝のメッセージでした。その日はマルコ8:34-38のみことばから「私たちが負うべき十字架は使命だ」ということを教えていただきました。

メッセージに耳を傾けながら「じゃあ私に与えられている使命は何だろう?」と考えたとき、すぐに頭に浮かんだのが今関わっているユースの子たち一人一人の顔でした。この働きを続けていく中で「本当



written by manyamo



マタイ6:27

「あなたがたのうちだれが、心配したからといって、少しでも自分のいのちを延ばすことができるでしょうか。」